

分類 番号	A1	取組 名称	京丹後市域の考古資料を中心とした文化遺産の整理と活用
研究代表者：	文学部	職・氏名：	准教授・向井 佑介
研究担当者：	京都府立大学（菱田哲郎・榎木謙周・横内裕人・井上直樹） 外部分担者・協力者（増田庄吾氏、和田省三氏、新谷勝行氏）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	京丹後市（京丹後市立丹後古代の里資料館）		
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>京丹後市大宮町に所在する大宮売神社は、丹後国二宮として知られ、古代の文献史料にも記録される神社である。明治・大正年間以来、その境内からは古墳時代の祭祀遺物が出土し、神社成立以前から地域の人びとによって祭祀・信仰の場であったことがわかっている。つまり、大宮売神社は古代以前にさかのぼって神社の成立過程をさぐることのできる貴重な例であるものの、そこから出土した考古資料の大半は未整理のまま大宮売神社の社務所に保管されてきた。本研究は、その資料を整理・報告するとともに、その成果をひろく日本と東アジアの歴史のなかに位置づけようとするものである。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p><b>1. 大宮売神社所蔵資料の整理</b>          神社に保管されてきた土器などの考古資料の実測・写真撮影・目録作成をおこない、その記録類を大学に持ち帰って整理し、報告作成のための準備作業を行った。</p> <p><b>2. 小学生向け体験学習イベントの企画と実施</b>          8月1日に丹後古代の里資料館で小学生向け体験学習イベント「ミニチュア土器をつくってみよう」を実施した。イベントは本学の大学院生と学部生が企画し、大宮売神社遺跡出土のミニチュア土器をおもな教材として、土器の製作体験を行った。当日は、市内各所より児童11名が参加した。</p> <p><b>3. 中間成果報告会の開催</b>          10月19日に周枳地区公民館において中間成果報告会を開催し、「大宮売神社の考古資料」（向井）と「大宮売神社とその周辺の遺跡」（菱田）の内容で報告を行い、30数名の来聴者をえた。          2月18日の合同成果報告会では、向井が「丹後の海と古代祭祀」と題する報告を行った。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<p>〈小学生向け体験学習イベント〉 8月1日 丹後古代の里資料館 児童11名とその保護者が参加          〈中間報告会〉 10月19日 周枳地区公民館（京丹後市大宮町） 30数名が来聴          〈合同報告会〉 2月18日 みやづ歴史の館（宮津市鶴賀） 約90名が来聴          ※上記の詳細については『京都府立大学文学部歴史学科フィールド調査集報』第3号（2017年3月）掲載の向井報告と川崎雄一郎報告を参照いただきたい。</p>			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
文学部 准教 向井佑介 Tel: 075-703-5319 (京都地域未来創造センター) E-mail: mukai@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

1. 小学生向け体験学習イベント「ミニチュア土器をつくってみよう」（8月1日）



ミニチュア土器製作体験のようす（1）



ミニチュア土器製作体験のようす（2）



木の葉を台とした土器の製作体験



大宮売神社遺跡の土器底部にみる葉の圧痕

2. 周枳地区公民館での中間成果報告会（10月19日）



「大宮売神社の考古資料」（向井報告）



「大宮売神社とその周辺の遺跡」（菱田報告）